

# 生細胞のタイムラプス撮影 (スクラッチアッセイ)



SUSCARE

## 1. 測定条件

マウス胎児皮膚由来株化細胞 (NIH/3T3) を1日培養後、200  $\mu$ L チップで創傷を作製し、ライブセルイメージングシステムで2時間毎計48時間タイムラプス撮影した。

## 2. 測定結果

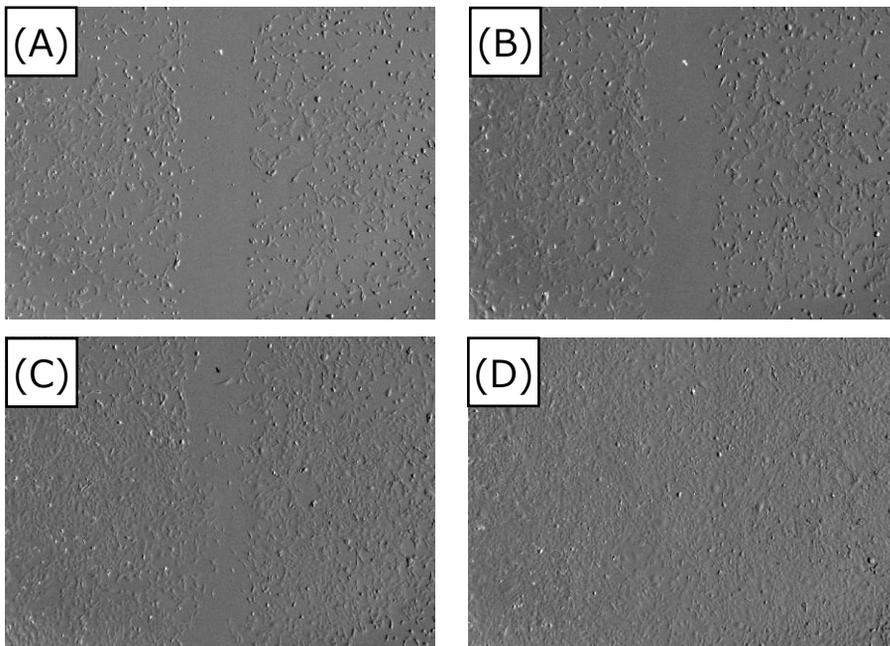


図1. 各時間における細胞画像. (A)0時間後の細胞の様子, (B)12時間後の細胞の様子, (C)24時間後の細胞の様子, (D)48時間後の細胞の様子.

## 3. 測定結果から得られる情報

生細胞を経時的に観察することで、創傷治癒能や遊走能を評価できます。

## 4. 使用機器／利用料金

ライブセルイメージングシステム (カールツァイス／Celldiscoverer 7)

中小企業： 2,320 円

一般企業： 4,930 円

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。  
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。